

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5
環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

環境政策課長 小池 誠

電話番号

0852-22-5345

事務事業の名称	しまねこども環境学習推進事業費	
目的	(1) 対象	こども
	(2) 意図	島根県における次代の環境保全を担う人材を育成するため、体験学習等を通じて子どもたちの環境に配慮する意識を高める。
事業概要	子どもたちが主体的に環境について考え、具体的に行動することを通じて環境意識を高めるよう、学校生活での自発的な取組を支援する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	学校における3R・適正処理学習支援事業実施校数	目標値	11.0	21.0	31.0	41.0	50.0	校
			取組目標値						
	式・定義	学校における3R・適正処理学習支援事業実施校数	実績値	11.0	19.0				%
		達成率	100.0	90.5	-	-	-		
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-		

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	7,410	11,810
うち一般財源 (千円)	260	260

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成28年度の新規実施校は8。内訳は、小学校6、中学校2。昨年からの継続実施校は、9。内訳は、中学校1、高校5、特別支援学校3。
平成28年度から小学校を新たに対象に追加。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

小・中・高・特別支援学校における環境教育の取組は、着実に広がっている。
学校における3R・適正処理学習支援事業は、事業開始から2年が経過し、この事業の認知度は少しずつ高まってきている。
事業を実施した学校の様子を課のHPや冊子で紹介するなど、情報発信に努めてきた。
平成28年度は、学校の先生に事業を知ってもらうため、あらゆる機会を利用して事業説明を行った。
例えば、県の小・中学校理科及び家庭科研究会、県の高校家庭科研究会、出雲市中学校社会科研究会等で説明を実施。
また、8市及び隠岐の島町の小・中社会科教育研究会あて資料送付などを行った。
その結果、平成29年度は新規で10校(小8、中1、高1)の申請の見込み。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

新規に事業に取り組む中学校や高等学校が、少ないこと。

②困っている状況が発生している「原因」

各学校では、学習すべき授業が決まっています、新しい授業を行う時間がないのが現状。また、キャリア教育の一環として、学校が行っている総合的学習の時間があるが、学校では継続して取り組んできた内容が、新規事業を授業に組み込みにくい。

③原因を解消するための「課題」

新年度の学習すべき授業は、旧年度の冬に決まるため、新年度の事業募集を早い時期に実施する必要
事業を実施した学校の様子を未実施校に伝える等の情報発信の強化
学校にもメリットがあり、授業の狙いと一致するような提案が必要

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

新年度の事業募集を早い時期から実施
教科の研究会等のあらゆる機会を通じて、事業を実施した学校の様子を、小・中・高校・特別支援学校別に、「モデル事例」として紹介するなど、未実施の学校に関心を持ってもらえるような提案
事業を実施した学校の様子を、冊子や課のHPなどで情報発信